

令和4年度市民意識調査自由記述におけるテキストマイニングの結果報告

■概要 テキストマイニングとは、アンケート回答など、自由な形式で記述された文章を単語や文節に分割して、その出現頻度や相関関係、いつ発言されたものなのといったことを分析し、有益な情報を探し出す技術のこと。令和4年度市民意識調査の「7.自由記述」において、記載のあった内容から下図のとおりテキストマイニングした。

■考察 次のとおりです。

- 「道路」「歩道」「整備」「歩行」「通学」「狭い」「危険」などが関連しており、交通に対する不安や整備を求める声が多く上がっている。
- 「買い物」「不便」「スーパー」から買い物の不便さについて改善を求める声があがっている。
- 「資源」「ゴミ」「回収」から資源ごみの回収の仕方についての意見があがっている。
- 「子育て」「世帯」「支援」から子育て世帯への支援を求める声があがっている。
- 「バス」「本数」「増やす」からバスの本数を増やして欲しいという意見が見られる。
- 「交差点」「信号」「右折」から右折レーン、信号を整備してほしいという意見が一定数みられる。
- 「街灯」「少ない」「もう少し」からもう少し街灯を増やして欲しいという意見が見られる。
- 「健康」「都市」から健康都市としての施策を展開してほしいという意見が見られる。
- 「市長」「市民」「職員」「市役所」「対応」から市民に寄り添った市長の政策が評価されていたり、職員の対応に満足していたりするなどの意見が見られる。

